

令和2年度 台東区立東泉小学校 経営計画案(第1案)

平成31年4月1日

学校教育目標 「かがやけ」東泉の子 か・学校考える子 が・がんばる子 や・やさしい子 け・元気な子 ○目指す学校像 ①子どもが笑顔でいきいきと登校する学校②教職員がはつらつと教育活動に取り組む学校 ③保護者・地域の方が信頼を寄せる学校④地域を愛し、学校を愛し、人を愛する学校 ○目指す児童像 ①自ら学び、考え、行動できる子 ②思いやりのある子 ③心身共にたくましい子 ④地域を愛する子、学校を愛する子、友達を愛する子 ○目指す教師像 ①自分の持ち味や専門性を高める教職員 ②互いに切磋琢磨する教職員 ③連携し、協力し、協働する教職員 ④保護者・地域に信頼される教職員	
--	--

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標	取組例
学力の向上	○授業改善を進め、児童に基礎的・基本的学習事項の定着と読書活動の充実を図る。 ○児童の興味・関心を高める児童主体の授業展開を工夫する。	○学習規律の徹底と学習の基礎的・基本的な学習事項の定着と読書活動の充実を図る。	★全校共通の学習規律(東泉スタイル)の指導を行い、その徹底を図る。 ★読書活動を充実させ、児童の読書量を増やす。 ★家庭学習の習慣化を図り、自主学習を推進する。	4. 毎日原簿に学習規律の指導を行っている。 3 3. 週に3~4回程度 4 2. 週に1~2回程度 2 1. 月に1回程度 1 4. 読書タイム(読書週間に併用、意図的に指導を行っている。 4 3. 隔週に1回程度、意図的に指導を行っている。 3 2. 月に1~2回程度、家庭的に指導を行っている。 2 1. 月に1回程度、意図的に指導を行っている。 1 4. 毎日課題出し、家庭学習の習慣化を図る指導を行っている。 4 3. 週に3~4日程度 3 2. 週に1~2回程度 2 1. 月に1回程度 1	4. 原簿アンケートにより、「東泉スタイルを守る」原簿が全体の90%以上 4 3. 80%以上 3 2. 70%以上 2 1. 70%未満 1 4. 一年間に全学年50冊以上の原簿が90%以上 4 3. 80%以上 3 2. 70%以上 2 1. 70%未満 1 4. 家庭学習カードにおいて「毎日家庭学習を行う」原簿が90%以上 4 3. 80%以上 3 2. 70%以上 2 1. 70%未満 1	○学方向上委員会を中心に学習規律(東泉スタイル)について計画・提案・推進・振り返りをさせる。 ○年度当初全職員で「東泉スタイル」について共通理解し、児童への共通指導をする。毎学期重点目標を決めている。 ○日常・授業観察により、実施状況を確認し、学方向上委員会を中心に改善を図る。 ○新学期で毎週火曜日に「読書タイム」を設定し読書に親しませる。 ○「読書週間」を設定し、自己のめあてを決めさせ重点的な指導を行う。 ○図書ボランティアとの連携により、月1回程度読み聞かせなどを行う。 ○毎日家庭での学習課題を出し、翌日チェックする。 ○学方向上委員会と連携し、自主学習の内容を工夫し推進していく。 ○毎週水曜日の「古典」や「ことわざ」の暗唱等も家庭学習で行うようにする。
		○授業の対話的で深い学びの学習を目指し、児童の興味関心を高めるための授業を行う。	★主体的対話的で深い学びの学習を目指し、児童の興味関心を高めるための授業を行う。 ★授業のねらいに合わせてICT機器を効果的に活用する。	4. 毎日、原簿主体の、分かる授業を工夫し、展開している。 4 3. 週に2~3回程度、指導を行っている。 3 2. 週に1~2回程度、指導を行っている。 2 1. 月に1回程度、指導を行っている。 1 4. 毎日、ICT機器を活用した授業を行っている。 4 3. 週に3~4日程度 3 2. 週に1~2回程度 2 1. 月に1回程度 1	4. 原簿・保護者アンケートから「学習を理解している」の割合が90%以上 4 3. 授業80%以上 3 2. 授業70%以上 2 1. 授業70%未満 1	○校内研修で学んだ指導方法を授業の授業に生かす。 ○校内研究・OJTをもとに児童の笑顔に合わせた「主体的・対話的で深い学び」の実現を視点とした授業改善の改善。 ○進捗により、その計画・実施を確認し、年3回指導案作成授業観察や日々の授業観察で指導・助言する。
		○校内外の児童の学びの場を確保し、児童の学びの場を確保する。	★算数科の校内研究を推進し、児童が主体的に活動するための指導法を研究し、日々の授業改善に生かしている。 ★OJTを活用し、各職能に応じた人材育成を図る。	4. 全単元の90%以上で「ふりかえり」の時間を確保し、思考力・判断力・表現力を高める。 4 3. 全単元の70%以上で実施 3 2. 全単元の60%以上で実施 2 1. 実施が全単元の60%未満 1 4. 全単元の80%以上に参加し、指導方法を研究・実践している。 4 3. 全単元の70%参加 3 2. 全単元の60%参加 2 1. 全単元の参加が60%未満 1 4. 全単元の80%以上に参加し、指導方法を研究・実践した。 4 3. 全単元の70%参加 3 2. 全単元の60%参加 2 1. 全単元の参加が60%未満 1	4. 原簿アンケートで、全単元の90%以上が指導力が向上したと実感 4 3. 80%以上が指導力が向上したと実感 3 2. 70%以上が指導力が向上したと実感 2 1. 70%未満 1 4. 原簿アンケートで、全単元の80%以上が指導力が向上したと実感 4 3. 70%以上が指導力が向上したと実感 3 2. 70%以上が指導力が向上したと実感 2 1. 実感する教員が60%未満 1	○学習の共通指導を東泉スタイルにて明確にし、推進させる。 ○全教室の前庭、自立つとこころに共通掲示し、児童の指導に当たる。 ○授業観察や授業公開の際に確認・指導する。 ○講師を招いての研究全体会を年間7回実施する。 ○事前に教団研究分科会の検討時間を確保し、指導案の検討・事前授業会なども公開する。 ○年度末に研究紀要を作成し、成果、課題をまとめる。 ○OJT推進のための組織を作り、日常的に授業観察を推進し年間計画を作成し計画的に実施する。 ○定期的ミニOJT研修会を実施し、主任教諭が交代で講師を務め、研修を行う。 ○書写や体育の実技研修も行う。
豊かな人間性の育成	○生命を尊重し、互いに認め合い、支え合える豊かな心を育む。 ○基本的な生活習慣の定着・キャリア形成を図る。 ○異学年との交流を通して好ましい人間関係を育てる。	○人権教育を推進し、自他を大切にすることを心づける人間関係を育てる。	★道徳性を養う「考え、議論する」道徳科授業・評議を充実させるとともに、豊かな情操を育てる。 ★課題について、全教職員が全児童担任の意識で対応し、しめつけや叱責を許さず人権を尊重し児童間の人間関係を育てる。 ★自らの生き方や将来の働き方についても考えられるようキャリアパスポートを活用しキャリア形成を図る。 ★「早寝・早起き・朝ごはん」等教職員共通した生活習慣・規律(東泉スタイル)を遵守させる指導を行い、規範意識を高める。	4. 全単元の80%以上に参加し、指導方法を研究 4 3. 全単元の70%参加 3 2. 全単元の60%参加 2 1. 全単元の参加が60%未満 1 4. 全単元の80%以上に参加し、指導方法を研究 4 3. 全単元の70%参加 3 2. 全単元の60%参加 2 1. 全単元の参加が60%未満 1 4. 全単元の80%以上に参加し、指導方法を研究 4 3. 全単元の70%参加 3 2. 全単元の60%参加 2 1. 全単元の参加が60%未満 1	4. 全単元の80%以上が指導力が向上したと実感 4 3. 80%以上が指導力が向上したと実感 3 2. 70%以上が指導力が向上したと実感 2 1. 70%未満 1 4. 全単元の80%以上が指導力が向上したと実感 4 3. 70%以上が指導力が向上したと実感 3 2. 70%以上が指導力が向上したと実感 2 1. 実感する教員が70%未満 1	○こころざし教育副読本を活用する事業や授業も行う。 ○遠徳桜地区公開講座の事前研究会をOJT研修会にもち、道徳指導の向上を図る。 ○毎回の時間、指導研修会で成果を生かして授業を展開し評価も工夫する。 ○生活指導タイムを設定し、各学年小学の児童の様子を共通理解する。 ○ケース会議を毎月開催し、早期解決を図る。 ○スクールカウンセラーとの連携を深め、児童の思いをくみ取り理解に努める。
		○基本的な生活習慣の定着・キャリア形成を図る。	★1学期・2学期・3学期・4学期の生活習慣・規律(東泉スタイル)を遵守させる指導を行い、規範意識を高める。	4. 発生した問題について連絡・相談・対応が60%未満 4 3. 発生した問題について連絡・相談・対応が60%未満 3 2. 発生した問題について連絡・相談・対応が60%未満 2 1. 発生した問題について連絡・相談・対応が60%未満 1	4. 原簿アンケートから、意識して行っている児童が80%以上 4 3. 意識して行っている児童が70%以上 3 2. 意識して行っている児童が60%以上 2 1. 意識して行っている児童が60%未満 1	○全校朝会や計画的にあいさつ指導、東泉スタイルの振り返り、言葉遣いについて全体指導をする。 ○青空班での挨拶週間をもつめ、めあてを意識させ、青空班による挨拶活動を行い、重点的に指導する。 ○全校朝会「グローバルな社会で活躍する人材育成に向けて」講話も活用する。
		○異学年との交流を通して好ましい人間関係を育てる。	★東泉ファースト活動や青空班による異年齢集団の活動や関わりを計画的に行う。	4. 全教職員が原簿に意図的に指導を実施 4 3. 90%以上の教職員が実施 3 2. 80%以上の教職員が実施 2 1. 実施した教職員が80%未満 1	4. 原簿アンケートによる満足度80%以上 4 3. 満足度70%以上 3 2. 満足度60%以上 2 1. 満足度60%未満 1	○青空班による活動を年間5回計画し、年2回の清掃を行う。5月に全校遠足、6月に東泉東下を行い、児童の異年齢集団の行動機会を作る。
体力の向上と安全・健康・食育	○健康で安全な生活を実践する力を育む。 ○児童の健康・食育教育を推進する。 ○安全教育を推進する。	○児童の基礎体力の向上を図る。	★体育科学習を通して、発達段階に応じた指導を工夫・改善し、体力・耐力の向上への意識を高める。 ★授業の他、オリリンピック・パラリンピック教育を推進し意識を高めるとともに、体育的活動をもとに年間を通した体力づくりを行う。 ★健康に関する全校共通した指導を行うことで健康保持増進の意識を高める。 ★担任・栄養士、専科教員と協力し年間を通し給食指導や食育指導を進める。 ★危機管理意識を高め、危機を未然に防ぐために、安全(生活・交通・災害)教育の指導を行う。	4. 全教職員が原簿に意図的に指導を実施 4 3. 90%以上の教職員が実施 3 2. 80%以上の教職員が実施 2 1. 実施した教職員が80%未満 1 4. 全教職員が原簿に意図的に指導を実施 4 3. 90%以上の教職員が実施 3 2. 80%以上の教職員が実施 2 1. 実施した教職員が80%未満 1 4. 全教職員が原簿に意図的に指導を実施 4 3. 90%以上の教職員が実施 3 2. 80%以上の教職員が実施 2 1. 実施した教職員が80%未満 1	4. 原簿アンケートで全単元の80%が意図的に運動に挑戦している 4 3. 全単元の70%以上 3 2. 全単元の60%以上 2 1. 全単元の60%未満 1 4. 原簿アンケートから全単元の80%以上が意図的に運動に挑戦している。 4 3. 原簿が70%以上 3 2. 原簿が60%以上 2 1. 原簿が60%未満 1 4. 原簿アンケートから全単元の80%以上が意図的に行動している。 4 3. 全単元の70%以上 3 2. 全単元の60%以上 2 1. 全単元の60%未満 1 4. 原簿アンケートで安全に対する意識が高まった教員が80%以上 4 3. 70%以上 3 2. 60%以上 2 1. 60%未満 1	○継続し運動・持久走・水泳指導等で、全校共通のカードによる練習と検定を行うことで、運動に励ませる。 ○毎週水曜日に運動する「東泉タイム」を行う。 ○基礎的な身体能力の向上・日常的に体を動かすことの楽しさ、健康づくりの大切さを醸成を促す。 ○毎週水曜日に「東泉タイム」を実施し、年間を通してオリリンピック・パラリンピックを教育を行っている。 ○1学期「長縄月間」2学期「短縄月間」3学期「持久走月間」として、学校全体で取り組む。 ○毎年2月持久走記録会を実施して、めあてをもち、主体的に取り組め、達成感味わえるよう工夫する。
		○児童の健康・食育教育を推進する。	★担任・栄養士、専科教員と協力し年間を通し給食指導や食育指導を進める。	4. 全教職員が原簿に意図的に指導を実施 4 3. 90%以上の教職員が実施 3 2. 80%以上の教職員が実施 2 1. 実施した教職員が80%未満 1	4. 原簿アンケートから全単元の80%以上が意図的に行動している。 4 3. 全単元の70%以上 3 2. 全単元の60%以上 2 1. 全単元の60%未満 1	○「はみがきタイム」を固定し、毎日指導を行う。 ○学校保健計画の保健指導の年間計画を学級担任と連携・協力により実施。 ○生活リズムをつぎつぎと健康生活カードによるチェックを年3回実施。
		○安全教育を推進する。	★「自分の命は自分で守る」意識を高め、生活安全・交通安全・災害安全教育を推進する。	4. 全教職員が原簿に意図的に指導を実施 4 3. 90%以上の教職員が実施 3 2. 80%以上の教職員が実施 2 1. 実施した教職員が80%未満 1	4. 原簿アンケートによる満足度80%以上 4 3. 満足度70%以上 3 2. 満足度60%以上 2 1. 満足度60%未満 1	○校舎内外の全施設を全職員で月1回点検する。 ○「子供安全の日」一斉下校の保護者への公開も行い、交通安全の全校指導をする。 ○交通安全事故の防止に向けて、登校時の安全点検や歩行の意識について月に一度実施する。
信頼される学校づくり	○地域に関わった学校づくりを進める。	○保護者・地域に信頼される学校づくりを推進する。	★学校公開・土曜授業公開や各種行事等を利用して情報発信する。 ★学校・学年便りや発行し、HPを更新、公開するほか、学校一斉メールを適宜配信し、各種アンケートを行う。	4. 年間を通して、全教科の80%以上を公開 4 3. 60%以上を公開 3 2. 40%以上の指導を公開 2 1. 公開した教科が、全ての教科の40%未満 1 4. 全単元の90%以上を実施 4 3. 全単元の80%以上を実施 3 1. 実施が全単元の80%未満 1	4. 保護者アンケートによる満足度80%以上 4 3. 満足度70%以上 3 2. 満足度60%以上 2 1. 満足度60%未満 1	○年間10回の土曜授業公開を実施する。 ○東科授業など、多様な教科指導の状況を公開する。 ○公開日に合わせて遠徳桜地区公開講座やゼミナール教室を実施する。
		○地域の施設・人材を生かした教育活動を推進する。	★社会科・生活科・総合的な学習の時間等で「キャリア・マネジメント」をもとに地域施設や人材を活用した学習を行い、出前授業の活用する。	4. 全単元の90%以上で実施 4 3. 全単元の80%以上で実施 3 2. 全単元の70%以上で実施 2 1. 全単元の70%未満 1	4. 原簿アンケートによる地域への理解や愛する心づもった原簿が90%以上 4 3. 80%以上 3 2. 70%以上 2 1. 70%未満 1	○NPO法人スライ学校支援ネットワーク等と連携し、各学年年間2回以上出前授業を実施する。 ○各学年、地域の方をゲストティーチャーとして招き、授業を工夫する。 ○校外学習や地域施設見学や探検など、地域を活用した単元を工夫し、実施する。